

編集後記

帝京科学大学紀要第20巻をお届けします。

昨年5月の連休明けに新型コロナウイルス感染症が2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類に変更になりました。それまでの規制が大幅に緩和され、会議は対面で行うことができるようになりましたが、まだ多くの会議が遠隔で実施されています。「止むに止まれず」取った対策が「以外に便利」なことが分かり、コロナ後も続いている好例です。子供たちの手洗いの習慣などもコロナがもたらした良い結果として挙げられるかもしれません。編集委員会も例にもれず、すべての委員会を遠隔で行いました。

帝京科学大学紀要も大台の20巻に達し、書庫の中で20cmの幅を占めるに至りました。振り返ってみると、2005年に創刊されて以来、第7巻までは薄い冊子でしたが、第8巻からは論文数が増え、背表紙を入れられる厚さとなりました（実際に背表紙を入れたのは第11巻から）。

編集委員と査読を担当してくださった方々のご協力により、第20巻には、総説論文を含む原著論文5編、研究ノート12編、研究・教育・社会活動の報告、事業報告、エッセイ等11編を含む合計28編の論文・報告等が掲載されています。昨年の編集後記で、コロナ前の4年間とコロナ禍の3年間の1巻当たりの紀要論文数を比較すると平均で6割ほど減少しました。これがコロナの影響とみられるかは定かではありませんが、コロナ明けで活性化した教育研究活動が紀要の厚さにも表れることを期待しています。

姉妹誌である教職センター紀要「教育・教職研究」、総合教育センター紀要「総合学術研究」、地域連携推進センター年報「地域連携研究」も巻号を重ねてきました。これらの学術誌との連携を図りながら、本学の教育・研究のアクティビティを社会に還元する手段の一つとして、帝京科学大学紀要を充実させていきたいと考えています。

特段の断りがない限り査読委員の氏名も掲載しその労に報いることとしています。多くの時間を費やして紀要編集に協力いただいた編集委員の先生方、査読していただいた全ての先生方、事務局の方々に御礼申し上げます。

令和6年3月
編集委員長 永沼 充

編集委員

高谷 光、橋本慎治、近藤保彦、菅沼一男、鈴木幹夫、渡邊利明、潮見泰藏、行田直人、大釜信政、一色 哲、望月崇博、今西ひとみ、大日向 浩、石田良仁、齊藤百合花、永沼 充

査読者（氏名掲載を承諾いただいた方）

荒川知子、石井孝弘、石田良仁、植木岳雪、大釜信政、大久保英一、大関健一郎、大西圭介、大森美保、加賀谷玲夢、金子千香、行田直人、楠永敏恵、倉山智春、小山優美子、齊藤百合花、櫻井 文、佐藤光浩、佐野徳雄、潮見泰藏、清野純子、芹田 透、高谷 光、竹嶋理恵、塚田絵里子、辻本 敬、津田 彰、冨田圭佑、豊田 輝、内藤可夫、西川 翔、畑山元政、藤原 基、本多みどり、松山 寛、宮城純子、森長真一、山田正己

（五十音順・敬称略）

表紙デザイン 井腰みゆき

帝京科学大学紀要 第20巻

発行日 令和6年3月31日

発行 帝京科学大学
〒120-0045 東京都足立区千住桜木二丁目2番1号
TEL 03-6910-1010（代） URL <http://www.ntu.ac.jp>

編集 帝京科学大学紀要編集委員会

印刷 株式会社 外為印刷